

令和5年度 第2学年 技術科(評価規準)

章・単元	学習活動	学習活動における評価規準			評価資料
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<p>〈C エネルギー変換の技術〉</p> <p>(1) エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み</p> <p>(2) エネルギー変換の技術による問題解決</p> <p>(3) 社会の発展とエネルギー変換の技術</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発電の仕組みと特徴についてまとめる。 ・さまざまな発電方法のプラス面、マイナス面について調べ、適切な発電構成割合について自分なりに考える。 ・電源の種類と特徴についてまとめる(送電・配電)。 ・電気回路について、電気用図記号を用いた回路図で表す。 ・様々な機構及び機械が運動を伝える仕組みについて調べる。 ・機械の運動の種類とエネルギー変換についてまとめる。 ・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を調べ、回転速度と回転力の関係を調べる。 ・機械の共通部品について知る。 ・機械を安全に利用するために保守点検が必要であることを知る。 ・身近な機械の保守点検をする。 ・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・製作する電気回路が決まったら、安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行う。 ・エネルギー変換の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。持続可能な社会の構築のために、これからのエネルギー変換の技術について考える。 ・持続可能な社会の構築のために、これからのエネルギー変換の技術について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について理解している。 ・発電の仕組みと特徴について理解している。 ・電源の種類と特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。 ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技能を身に付けている。 ・電気回路の仕組みについて理解している。 ・電気機器の安全な使い方について理解している。 ・機械が運動を伝える仕組み、運動の種類とエネルギー変換について理解している。 ・回転運動を伝える仕組みの特徴、リンク機構やカム機構について理解している。 ・機械の共通部品と保守点検の大切さについて理解している。 ・電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 ・構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図などにまとめることができる技能を身に付けている。 ・エネルギー変換の技術の概念について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな発電方法に込められた技術の工夫について考えている。 ・送電・配電の技術の工夫について考え、電気による事故を防ぐ方法を考えている。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気付くことができる。 ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。 ・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。 ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。 	<p>ノート</p> <p>レポート</p> <p>ワークシート</p> <p>定期考査</p> <p>実技課題</p> <p>製作物</p> <p>課題への取り組み</p>

<p>〈D 情報の技術〉 (2) 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べる。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考える。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行う。 ・使用する人のことを考えてプログラムを制作する。 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。 ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 ・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。 ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。 ・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。 ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。 	
---	--	--	--	---	--